

令和 5 (2023) 年度特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害状況等について

令和 6 (2024) 年 6 月 6 日  
環境森林部自然環境課・農政部経営技術課

- 公園、住宅地等において新たに3,236本の被害木が確認された。
- 果樹園では、被害樹率は昨年度より微増であった。
- 拡散防止を図るため、市町と連携して監視ポイントを増設し、監視を強化するなど、更なる防除対策を実施していく。

1 公園、住宅地等における新規被害木数

年度	サクラ (本)	その他※ (本)	計 (本)
H29 (2017)	6	2	8
H30 (2018)	150	69	219
R元 (2019)	300	99	399
R 2 (2020)	544	90	634
R 3 (2021)	835	144	979
R 4 (2022)	1,923	562	2,485
<b>R 5 (2023)</b>	<b>2,580</b>	<b>656</b>	<b>3,236</b>

※ モモ、ウメ、プラム等

2 被害確認市町における果樹園の被害発生状況調査結果

年度	被害樹率 (%)	被害樹種	備考
H29 (2017)	7	モモ	佐野市及び足利市(モモ)：全樹調査
H30 (2018)	19	モモ	佐野市及び足利市(モモ)：全樹調査
R元 (2019)	19	モモ、ウメ	佐野市及び足利市(モモ)：全樹調査 栃木市(ウメ)：被害園周辺を調査
R 2 (2020)	17	モモ、ウメ	佐野市及び足利市(モモ)：全樹調査 栃木市(ウメ)：被害園周辺を調査
R 3 (2021)	17	モモ、ウメ	佐野市、足利市(モモ)：抽出調査 栃木市(ウメ)：被害園周辺を調査
R 4 (2022)	18	モモ、ウメ、スモモ	佐野市、足利市(モモ)：抽出調査 栃木市、宇都宮市、鹿沼市(ウメ)、 下野市(スモモ)：被害園周辺を調査
<b>R 5 (2023)</b>	<b>20</b>	モモ、ウメ、スモモ、アンズ	佐野市、足利市(モモ)：抽出調査 栃木市、宇都宮市、鹿沼市(ウメ)、 小山市(アンズ)、下野市(スモモ)： 被害園周辺を調査

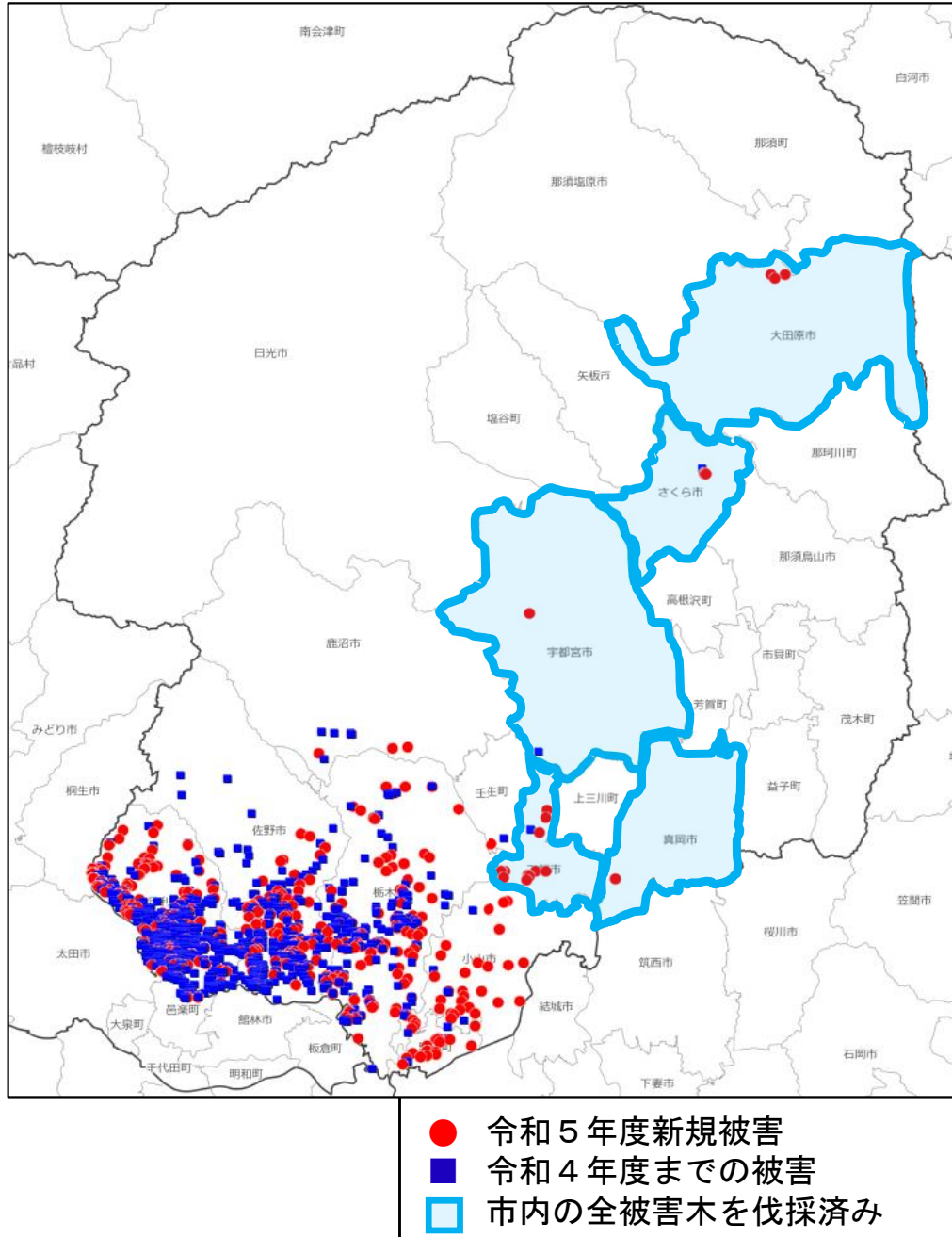
注) 被害樹率 = 被害樹数 / 調査樹数 (被害樹種)

3 令和 6 (2024) 年度における県の取組

項目	公園、住宅地等における取組	果樹園における取組
防除対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被害木伐採への補助※</li> <li>・市町への資材の配備※</li> <li>・市町と連携した監視と防除</li> <li>・監視ポイントの増設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業者への防除指導、ネット・農薬や伐採等の防除支援</li> <li>・農業総合研究センターにおける試験研究(防除方法の検討等)</li> </ul>
体制整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来種被害対策協議会 (県・全市町)</li> <li>・関東地方における被害発生都県による会議</li> </ul>	
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシ等による県民への注意喚起</li> <li>・防除対策マニュアル等による駆除方法の周知徹底</li> <li>・被害調査の実施※</li> <li>・市町担当者及び造園業者等を対象とした防除研修の開催</li> </ul>	

※ 事業費の増額

# 栃木県におけるクビアカツヤカミキリ被害確認箇所



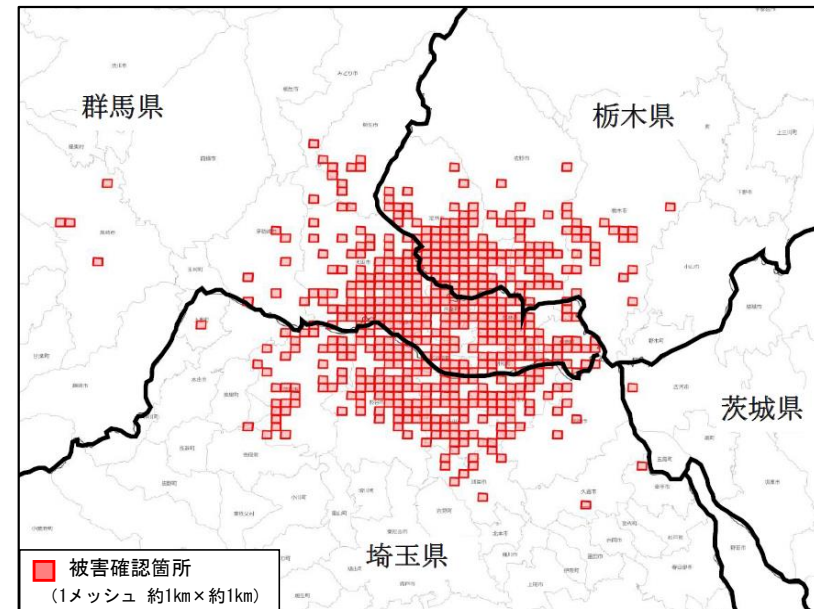
# 被害確認市町の推移

年度	市町
H29 (2017)	足利市、佐野市
H30 (2018)	足利市、栃木市、佐野市
R元 (2019)	足利市、栃木市、佐野市、小山市
R 2 (2020)	足利市、栃木市、佐野市
R 3 (2021)	足利市、栃木市、佐野市、小山市、壬生町、野木町
R 4 (2022)	宇都宮市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、野木町、さくら市、鹿沼市、下野市
R 5 (2023)	宇都宮市(1)、足利市(1, 176)、栃木市(938)、佐野市(818)、鹿沼市(3)、小山市(160)、真岡市(1)、大田原市(5)、さくら市(8)、下野市(22)、壬生町(19)、野木町(85) 計12市町 3,236本

注1：カッコ内は果樹園以外の新規被害本数

注2：下線市町は、果樹園の被害も発生

(参考) 両毛地区における被害確認状況 (令和2 (2020) 年度)



## ＜参考資料：クビアカツヤカミキリについて＞

### 1. クビアカツヤカミキリの概要

#### ○生態等

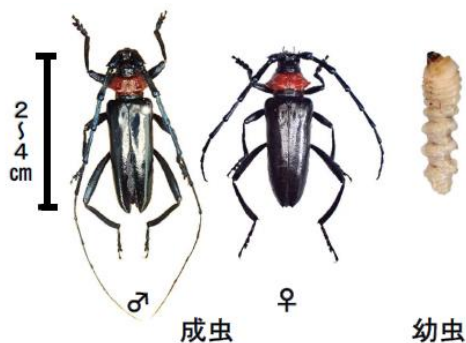
- ・原産地：中国、台湾、朝鮮半島、ベトナム北部など
- ・体長(成虫)：約2.5～4 cm
- ・体の色：全体的に光沢のある黒色で胸部(首部)が赤い
- ・寄主樹木(幼虫)：サクラ、ウメ、モモ、スモモ等の樹木(2～3年で成虫になる)
- ・産卵数：最大1,000個、在来カミキリの3倍程度
- ・成虫が樹皮上に産卵し、孵化した幼虫が生きた樹木の内部に入り込み、樹木の内側を食い荒らす

#### ○法規制

##### ・H30年1月に特定外来生物※に指定

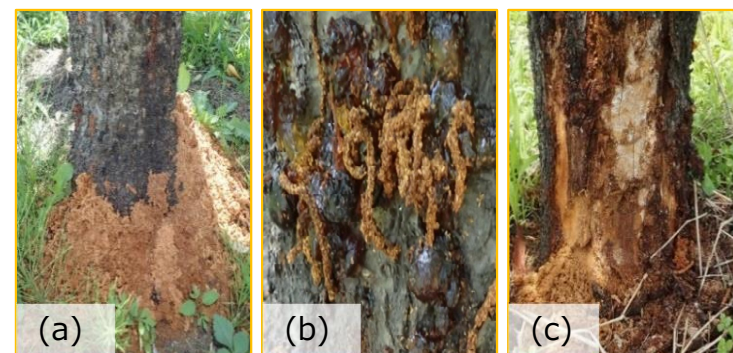
許可無しに「生きたまま運ぶこと」、「飼育すること」、「他の場所に放すこと」等が禁止された。

※外来生物法に基づき、外来生物であって、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定される



クビアカツヤカミキリが寄生すると、幹や枝から、明るい色でうどん状のフラスが大量に排出される

※フラス：幼虫が排出する、木くずと糞が混じったもの



- (a) 株元に大量に積もったフラス。パラパラした粉状になることもある。
- (b) フラス排出部分の拡大。フラスは「うどん状」になることが多い。
- (c) 被害が進行し、樹皮が剥がれ落ちた樹木。

### 2. 被害の特徴

幼虫が1～3年かけて樹木の内側を食い荒らし、**樹木が弱り、やがて枯れてしまう。**



(左) 食害によって枯死したモモ(果樹園)

(右) 食害によって枯死したサクラ(公園等)

### 3. クビアカツヤカミキリの一生

栃木県のモモ園における参考事例

